

令和5年3月7日

若手研究部会 活動報告書

研究部会名称	熱水分同時移動理論 部会	
主査	氏名	高取伸光
	所属	京都大学
	連絡先	
成果		
活動内容		
<p>本研究部会では、建築材料の熱や湿気を中心に研究を行っている若手研究者の湿害に関する知見を広げることを主な目的とし以下のような活動を行った。</p> <p>1) 若手研究者同士による湿害に関する研究交流会</p> <p>建物内の熱や湿気に関する若手の研究者同士での意見交流会を定期的に開催し、各分野における現在の課題について意見交換を行った。交流会は合計で8回開催し、大学の博士課程の学生3名、大学教員(助教相当)4名、企業の若手研究者6名の計13名が参加した。オンラインでの懇親会も行い、当該分野の活性化につながったものと考えられる。</p> <p>2) 材料内における熱水分同時移動理論に関する勉強会</p> <p>材料や壁体内の熱水分移動に関する勉強会を約2週間に1度程度の頻度で開催した。4名(教員2名+博士課程学生2名)の参加者が集まり、熱水分移動の理論的基礎に該当する論文をじっくり学習することで知見を深めた。また、本活動の最中「理論だけでなく、数値解析技術に関する交流会を今後行いたい。」という意見が出るなど、今後の研究交流活動を広げるための良い機会になったものと考えられる。</p> <p>3) ベテラン研究者による講演会</p> <p>建物における湿害研究のベテラン研究者として、京都大学教授小椋大輔氏をお呼びし、建物内の湿害における最近の研究動向と今後の展望について「環境と微生物と人との関わり」という内容でご講演いただいた。</p> <p>4) 大建工業 R&D センターにおける現場見学会</p> <p>建築材料の熱・湿気特性に関する最先端の研究を学ぶため、企業の研究施設である大建工業 R&D センターの現場見学会を、大建工業株式会社 R&D センター分析技術研究室 三箇山茜氏の協力のもと開催した。大学教員2名、博士後期課程の学生2名、企業の若手研究者1名が参加し、材料研究に関する意見交換会などを行った。</p>		